

蒲郡文化

No.237

蒲都市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

ご縁がつなぐ……新しいご縁

蒲郡市文化協会長 鈴木康祐

今年、俊成短歌大会は40回をむかえた。去年市制70周年記念という事もあり、学生の部に高校生を加えて行った。学生の応募は去年が3524首、今年が3785首。そして、今年は題詠の部に加え、中学生の「藤原俊成の生きざまからわかる蒲郡の発展」と題して、研究発表も行われた。開会の言葉のなかで、この数字にひとしおの感慨をもって話をした。それは、こうして壇上で話をするようになったきっかけは、ご縁を得た林正夫先生との出会いである。先生は、文化協会に入ってから短歌を始めたと聞いているが、選者の先生と一緒に学校を回ったりして生徒さんに短歌の普及に努め…なかなかすぐに結果は出ず、色々と苦労話も聞いていた。なので高校に投稿用紙も持って回ると聞いたとき私も一緒に回らせてもらった…が今、こうして成果が数字となって、もちろん多くの人達の努力があって実を結んだ。また、俊成短歌会がこうして全国規模の大会になったことにも、おおいに貢献された方だと思っている。

少しさかのぼるが、先生が文協の会長の時「仏像の見方」を文協講座でやってくれないかと、言われた。人前で話をするなんて、一度もしたことが無いのに出来るか、とても不安であったが自分も病気をして変わろうと思っていたこともあり、「はい」と返事をした。これをご縁に、なにかと気にかけて頂いた。仕事以外でも、名前は「康祐」を使って活動したら、と言って頂き、それからこの名前で文協なども使い始め今に至っているのもそのひとつである。それでも、亡くなるまで私のことは「ケンちゃん」と呼ばれていた。そんななか、先生の前の会長から文協の事務局長をとという話があったが、私の仕事など考えていろいろと気づかって頂き、数年後に受けることになった。そして、今度は「ふるさと文化財

の話」と題して、蒲郡文化に原稿を書いてもらうことになった。年2回で20回続けて頂いた。いろいろ話をしながら、毎回楽しく読ませて頂いた。こういったご縁の中で、40回大会での開会の言葉であった。

私の仕事柄もあるかもしれないが、人と人とのご縁でいろいろなことが繋がっていると思っている。人との縁で今の私があると。俊成短歌大会が、立派な大会になるよう頑張ってもらえ、花開いた成果を記念大会の壇上で私が話すことができたのは、先生とのこうしたご縁の結果だと思っている。

40回記念では、終わった後、特別講演をして頂いた歌人、上位入賞者、選者（歌人）、実行委員と



の交流会を行った。入賞者の皆さんには喜んで頂き、楽しい時間を持つことが出来た。そして、参加記念にと用意された中のひとつが、くじ運のなかった私が引き当ててしまった。とても素晴らしいご

褒美を頂いてしまい、私としても、嬉しい時間となった。

こうして新しい年度が始まった。そして、文化協会を引っ張って頂く事務局長も新しく迎えた。これも、私に事務局長を、と言って頂いた人のご縁だと思ふと同時に、新しいかじ取りをしていただけたご縁をつなげられることになった。また副会長も2名が代わった。新しい皆さんと、今少し頑張っていきたいと思っている。会員の皆さまのご協力をお願いします。（写真 右 特別講師 吉川宏志氏と筆者）

令和7年度 文協被表彰者紹介

4月19日の総会において3名の方が、表彰されました。

《文化賞》



中村 達【短歌部会】

【略歴】

1985年 蒲郡市文協入会
'11年～14年 短歌部会長
'15年～18年 文協副会長
'19年～22年 文協会長
'23年～文協顧問

《功労賞》



羽田 喜久司【菊花部会】

【略歴】

'01年 蒲郡市文協入会
'05年～菊花部会長

《功労賞》



鈴木 美耶子【短歌部会】

【略歴】

'01年 蒲郡市文協入会
'05年～10年 文協短歌部会幹事
'11年～文協短歌部会理事
'11年～20年 編集委員
'19年～22年 文協短歌部会長

総

会



鈴木市長



今枝衆議院議員



おおたけ衆議院議員



喚田県会議員

4月19日午後1時30分から市民会館東ホールにて本人出席90名で開催されました。

今年度は、文化協会の会費の変更が承認されました。また、副会長2名と事務局長が交代し、新しい三役が決まりました。

アトラクション

蒲郡NYコーラス（洋楽部会）

演目 1、絆 2、空は今
3、愛の花 4、いのちの歌



令和6年度事業報告および収支決算

- 春の文協まつり：期間4月29日～5月26日、部会行事開催延日数20日、協賛行事1日、参加者1,006名
 ○市民文化祭：期間11月1日～11月24日、部会行事開催延日数29日、参加者1,224名
 ○文化財めぐり：11月20日 滋賀県「近江神宮と紫式部ゆかりの石山寺を訪ねる」参加者50名、バス2台
 ○歌・句集「楠若葉43」令和6年度版、11月1日発行 短歌46名、俳句94名、川柳10名寄稿
 （浦添市文化協会 寄稿有）
 ○文協講座：4講座、開催延日数11日、受講者39名
 ○機関紙発行：蒲郡文化232号から235号まで4回発行
 ○市民病院ギャラリー展示：9月、3月の2回入替 短歌・俳句・絵画・水墨画・書道・写真・工芸部会が出品
 ○市民会館ギャラリー展示：水墨画部会（7月度）、絵画・俳句部会（9月度）、県文連美術展入賞作品（12月度）、短歌・水石部会（3月度）
 ○文化事業：2月16日「故郷蒲郡に響くボリビアの音楽 木下尊淳フォルクローレコンサート」市民会館大ホール、入場者970人
 ○月例茶会：1回中止（12月）、4、6、7、9、2、3月は三興庵で開催
 ○愛知県民茶会 10月13日 蒲郡市民会館
 ○総会4月20日出席会員122名。役員会4回、運営委員会3回、役員・運営委員合同会1回、編集委員会・ポスター委員会・特別委員会等必要に応じ随時開催

【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額（円）	説 明	項 目	支出額（円）	説 明
繰 入 金	53,352	前年度繰越金、積立金	会 議 費	79,894	総会費
会 費	1,894,200	正会員 1,000円×1,099名 18歳未満 300円× 84名 特別会員 5,000円× 154口	事 務 費	1,995,435	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事業収入	1,682,300	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業入場料	事業費	4,121,203	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業、文化振興費等
補助金	1,100,000	蒲郡市	予 備 費	0	
負担金	1,800,000	市民文化祭、文化事業	積 立 金	380,000	職員退職金、文化事業
雑収入	81,745	利息、コピー代等	繰 越 金	35,065	次年度へ繰越金
収入合計	6,611,597		支出合計	6,611,597	

令和7年度事業計画および収支予算

- 総会 ○春の文協まつり ○月例茶会 ○文協講座 ○市民文化祭 ○文化事業
 ○機関紙「蒲郡文化」4回発行 ○市民病院ギャラリー展示入替 ○市民会館ギャラリー展示

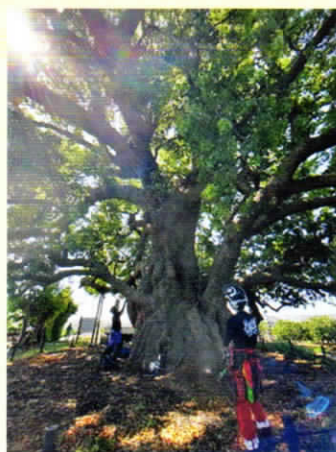
【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額（円）	説 明	項 目	支出額（円）	説 明
繰 入 金	52,065	前年度繰越金、積立金	会 議 費	104,000	総会費、その他会議費
会 費	2,529,000	正会員 2,000円× 890名 18歳未満 700円× 70名 特別会員 5,000円× 140口	事 務 費	2,425,000	事務局費、旅費、通信連絡費、慶弔費
事業収入	945,000	講座・文化財めぐり参加費、楠若葉投稿料、県美術展出品料、文化事業入場料等	事業費	3,743,000	機関紙発行、文協まつり、文協講座、市民文化祭、県文連事業、文化事業等
補助金	1,100,000	蒲郡市	予 備 費	100,000	
負担金	1,760,000	市民文化祭、文化事業	積 立 金	40,000	職員退職金
雑収入	25,935	利息、コピー等			
収入合計	6,412,000		支出合計	6,412,000	

大クスとクスサン

ここ数年、この大クスにクスサンと呼ばれる蛾が発生するようになりました。クスサンは大型の蛾で、さなぎになる前の幼虫からは糸が取れるため「楠蚕」とも書きます。幼齢のうちはイトミミズくらい小さいのですが、葉を食べて成長すると、最後には10センチほどの大きな毛虫になります。クスノキ以外にも、クリやクル



ここまで読むと「樹木の管理をなぜ博物館が？」とお思いの方もいるかもしれません。清田の大クスは「国指定天然記念物」で、「文化財」の扱いとなります。ですので、管理や保全は博物館の学芸員が担当します。蒲郡の宝を次世代につなぐため、これからも大クスを守っていきたいと思います。（博物館学芸員 松田 繁）

●●● 会員ピアザ ●●●



「51代横綱玉の海」
4月27日 於：蒲郡ホテル

会 長	鈴木 康祐
副会長	牧野 一古（文芸・教養部門）
副会長	高橋 信夫（美術部門）
副会長	稲吉 初美（舞踊・音楽部門）
事務局長	小林 憲三
文芸・教養部門	【部会長・運営委員】
短 歌	中村八重子 本多 礼子
俳 句	三田 土龍 田中まる子
華 道	早瀬 恵雲 浅井 慧雲
茶 道	中野 宗恵 平井 宗昌
水 石	平岩 尚文 広浜 弘泰
菊 花	羽田喜久司 河井 宏幸
美術部門	【部会長・運営委員】
絵 画	伊藤 裕一 平野 秀男
水墨画	榊原 公平 佐野 孝子
書 道	壁谷 桔華 濱田 櫻秀
写 真	石川 和則 奥原 哲雄
工 芸	鈴木 幸枝 近藤佐代子
舞踊・音楽部門	【部会長・運営委員】
吟剣詩舞	勝 與四郎 三浦 守道
箏 曲	篠田多美子 仲田 武司
邦 楽	中村 弘味 伊藤 直美
舞 踊	西川 味里 園田 祥乃
洋 楽	塩澤恵美子 峠 美由紀
監 事	佐野 哲子 横田 英夫
編集委員	鈴木 康祐 齋藤とし子
	中村 文子 石川美津江
千賀 幸子	
杉田 翠風	西浦ちえ子
平野 雅久	

春の文協まつり

博物館ギャラリー会場



絵画展

5月9日～11日

出品者 25名

出品点数 41点

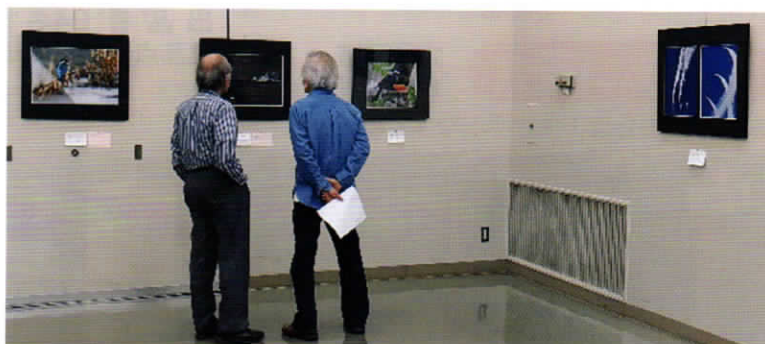
写真展

5月16日～18日

出品者 36名

出品点数 56点

写真タイトルに加え、撮影地や撮影データ等のコメントを出す人が増えていた。



水墨画展

5月16日～18日

出品者 31名

出品点数 57点

色彩のある作品が増えていた。
今回も、体験コーナーがおこなわれた。

退任にあたって

石川 貴裕

私が事務局長になって、2期4年になりました。最初の2年くらいは何が何やらよく分からない状態でしたが、少しずつコロナ前の活気を取り戻そうと、詩吟ではプロジェクターを使ったり、スタンブラリーをやったり、舞台のビデオ撮りをしたりしました。しかし、時間という特効薬には敵わず、自分の非力さを感じました。ポスターなどの印刷ミスもよくありました。でも、文化事業では小和田哲男さん、紺野美沙子さん、木下尊惇さんをお招きし、たくさんの人に来てもらいよい思い出となりました。

私にできることを一生懸命やってきたつもりです。私に心を寄せてくれた人、物足りなさを感じた人、それぞれあると思います。会員皆様のご理解とご協力のおかげで何とかやってこられました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

新任の挨拶

牧野 一古

この度、文芸・教養部門の副会長をお受けすることとなりました。御多分に漏れず高齢化のせいで会員の数が減少していますが、少しでも魅力のある文化協会にしたいと努力を重ねていきたいと思ひます。ぜひ皆様のご指導とご協力をお願い致します。

新任の挨拶

稲吉 初美

この度、副会長の任に就く運びとなり、文化協会の発展の為、今までの経験を活かし、誠心誠意務めさせていただきます。市民会館の改修工事や移転で、活動場所の制限がある中でも、会員の皆様へ気持ちよく活動できるよう、そして蒲郡市民の皆様に文化芸術を気軽に楽しんでもらえるようお手伝いさせていただきますので、ご指導、ご協力をお願い致します。

市民会館会場

書道・工芸展

東ホール
5月9日～11日



工芸

出品者 46名
出品点数 72点

書道

出品者 94名
出品点数 108点

盆石は初日にみなさんがそれぞれの景を打って作品を完成させていた



ふれあい茶会

大会議室
5月11日

ふれあい茶会は1席のみとなりました。



水石展

中会議室
5月24・25日

出品者 15名
出品点数 27点

華道展

東ホール
5月24・25日

出品者 50名
出品点数 50点



俳句大会

大会議室
5月24日

応募者 33名
投句点数 66点

令和七年度

春の文協まつり

俳句大会(当日句の部)

五月二十四日 大会議室

蒲郡市長賞

堰越ゆる稚鮎ひかりの粒となり

大場 安子

蒲郡市議会議長賞

堤防の絵画きはだつ薄暑光

牧原 克子

蒲郡市教育委員会賞

業平の井戸を一閃夏つばめ

渡辺みつ子

蒲郡市文化協会賞

水槽のたゆたふ海月見て飽きず

市川美智子

佳作

囀むほどに広がる海や蒸し浅蜷

秋川 一水

石仏の石にかへるや竹の秋

金田 満子

菊挿して髭面長子農に生く

西浦 良子

絵葉書のみすゞの詩や金魚玉

田中まるこ

まつり

芸能発表会 中ホール

中ホール

5月11日(日) 10時30分～15時



出演

雅楽

吟剣詩舞

大正琴

フラダンス

相撲甚句

舞踊

三味線

民謡



蒲郡俊成短歌大会



俊成短歌大会

今回は、40回記念という事で、自由題に加え「橋」をテーマとした「題詠の部」、中部中学校生徒さんによる研究発表、過去の俊成短歌大会のあゆみを記したパネルを展示したコーナーもつくられた。

講演は、歌人の吉川宏志先生

第四十回

蒲郡俊成短歌大会

四月二十九日(祝) 中ホール

特別賞 郡上市長賞

ちよこちよこと手すりを使わず廊下ゆく
堀井 道子

白寿の母のうしろ姿よ

入選

婿入りし初の正月これまでと
石田 賢吾

異なる雑煮に舌鼓打つ

入選

膝悪く歩み行くわが前の影
杉浦 常子

可笑しくなりて寂しくなりぬ

入選

二人共飲まないままの缶ビール
鈴木 照子

野菜室の隅に立っている

奨励賞

若き日の農家の厨は寒かりき
太田 文子

ねんねこ半纏ひと日着てをり

奨励賞

スマホでの指紋認証拒否さるる
中村 文子

手荒れの為か老いたる故か

奨励賞

湯たんぽをいくつも並べ大釜の
本多 礼子

湯けむり受けし母のなつかし

入選(題詠の部)

鉄橋を渡る音にて目を覚ます
齋藤とし子

あともうひとつ渡ればわが街

文協会員のみ掲載

(詳細はホームページをご覧ください)

お知らせ

文化財めぐり参加者募集 11月19日(木)

【行 先】 三重県・斎宮歴史博物館、VISON、
一身田専修寺

【参 加 費】 10,000円
(拝観料・昼食代含む)

【締 切】 10月27日(月)
直接文協事務局へ、又は往復はがきにて
参加費は後日納入

歌・句集「楠若葉44」投稿募集

【投稿規定】 1人5首または5句

【投 稿 料】 500円(1冊配本)

【締 切】 7月23日(木)
投稿料(500円)を添えて文協事務局へ

市民文化祭 短歌・俳句・川柳募集

【投稿規程】 短歌 未発表近作 1首
俳句 未発表当季雑詠 2句
川柳 未発表当季雑詠 2句

- ・投稿料 無料
- ・応募はがきまたは官製はがきに住所、氏名、電話番号を明記のこと
- ・市内在住・在勤、歌会・句会在籍者、または文協会員であること

【募集期間】 令和7年10月1日(木)必着

※申し込みはいつでも文協事務局
〒443-0035 蒲郡市栄町3-30
蒲郡市文化協会
電話・FAX 68-5509

市民会館の催し物 (問合せ TEL68-5509)

第59回碩山書院一門展	8月30日(土)・31日(日)
図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706) 【休館】特別図書整理 9月16日(火)~9月22日(月)	
戦後・被爆80年事業 巡回平和パネル展	7月 5日(土)~7月27日(日)
愛知工科大学×図書館コラボイベント	7月19日(土)・7月21日(月・祝)・8月3日(日)
ロープを結んで楽しむ学ぶ蒲郡	8月 3日(日)午前10時~午後5時
ボードゲームで遊ぼう!	8月 3日(日)・10月 5日(日)午後2時~3時30分
昭和100年企画展 あの頃へタイムスリップ	8月 7日(木)~9月 7日(日)
認知症予防の会	8月 8日(金)・9月12日(金)・10月10日(金) 午前10時~11時
英文多読ひろば	8月10日(日)・9月14日(日) 午後1時30分~2時30分
親子工作教室 国産ヒノキで箸をつくろう	8月23日(土)午後1時15分~3時45分
大人のための読書会 テーマ「絵本」	8月24日(日)午後2時~3時
短歌を楽しむ(2回目神田あき子氏)	8月31日(日)午後2時~3時
交通安全ポスター展	9月11日(木)~9月15日(月・祝)
英文多読講座	10月12日(日)午後1時30分~3時

博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

企画展「愛・地球博と蒲郡」	7月19日(土)~8月31日(日)
なつかしのオモチャコーナー&夏休みこども工作スペース	7月19日(土)~8月31日(日)
愛知やきものヒストリー スタンプラリー	7月12日(土)~9月 7日(日)
版木で昔の教科書をつくろう	8月20日(木)~24日(日)
第57回愛知県身体障害者作品展	9月 6日(土)~9月 7日(日)
SL写真とミニチュア機関車展	9月13日(土)~9月15日(月・祝)
博物館で「さわってみよう!」(考古編)	9月27日(土)
プラレール走行会	10月13日(月・祝)